

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ROSELLE2ND KIDS CLUB		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い敷地内に公園や感覚統合遊具、体育館やボルタリングがあり、天候に左右されずにのびのび体を動かせる。公園とは別に乳幼児園庭を設けており、集中してプログラムを行える環境を整えている。	公園、体育館で思いきり体を動かせるように活動時間を確保している。	それぞれの活動場所を活かしたプログラムを取り入れ、専門的なプログラムを充実できるように工夫していく。
2	同事業所の放デイの子供や、隣接する事業所の子供や職員との交流もあり、自然に社会性を育む機会が持てる。上級生との関わりの中で、甘えたり模倣することで人間関係を築く力を養うことができる。	隣接事業所とコミュニケーションを取る時間を設けている。	個別での対応ができるよう一人一人の特性を把握し、職員間で情報共有する時間を設ける。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個人の特性の差によりプログラム内容の立案が難しく感じる時もある。	個々の特性に合わせた、プログラム作りが難しい。	一人一人の特性に合わせて、同じプログラムでもできることなどの違いに目を向け、支援していく。社内研修を通し専門資格を持つ職員から学ぶ。
2	雨の日の体育館での活動時には音に敏感な子や、他事業所との交流もあり集団が苦手な子など、その子によって戸惑いが生じる可能性がある。	一人一人の特性を把握していくことが必要。	一人一人の特性に合わせて、同じプログラムでもできることなどの違いに目を向け、支援していく。社内研修を通し専門資格を持つ職員から学ぶ。学んだ事を実際行い、評価・反省につなげる。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ROSELLE2ND KIDS CLUB		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い敷地内に公園があり、気持ちの切り替えがスムーズに行うことができる。雨天時には体育館で体を動かすことができる。公園内で幅広い年齢の子供や、隣接する事業所の子供や職員とも関わることで、コミュニケーション能力や集団生活の基	限られた子供や職員との関わりにならないよう、色々な遊びや活動を通し、様々な人との関わりを大切にしている。	職員間で一人一人の特性を把握し、情報を共有することで子供との関わりを深めていく。
2	思いきりたくさん体を動かすことを日常的に行うことができるので、情緒の安定やストレスの発散、楽しみながら成長につながる活動ができる。運動能力や社会性も意識したプログラムを日々行っている。パソコンを使用するチャレンジ教室	外活動の時間を多く取り入れられるよう、宿題後にスムーズに外に出られるような声掛けなどを行っている。	外へ向かう際は職員同士で声を掛け合い、外にいる子と中にいる子の人数把握を職員全体で行う。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育のため、個別での対応がむずかしい時がある。運動などの外活動が中心となるため、体を動かすことが苦手な子が不安を感じてしまう可能性がある。他事業所との交流や外活動が、放課後の疲れた状態では負担になることもある。	集団活動の中で個別での対応を取ることがむずかしい時があり工夫について考えられる職員が少ない。	集団活動の中で個別での対応も行っていくために、一人一人の特性を活かしながら集団活動へ参加できるよう職員間で一つになり共有していく。
2	公園が広いので、目が行き届かない場合も考えられる。	公園の形状により見えづらい場所や死角がある。	公園内の職員の立ち位置を決め、職員全員が意識を持ち見守り、全体に目を向けられるようにする。
3			